

参加により期待できる変化

- 大学における学習支援の指針や方法について説明できるようになり、組織的な視点から問題を見つけその解決策や改善について提案することができるようになります。
- 所属大学の学生の状況やニーズ、実施されている学習支援の特徴と課題を整理し、他部署と連携した学習支援を提案できるようになります。
- 所属大学で実施する学習支援を向上させるためのアクションプランを作成できるようになります。
- 学習支援担当者のネットワークが広がります。

本研修会の到達目標

- (1) 学習支援とその意義を説明できる
- (2) 学習支援のさまざまな方法を説明できる
- (3) 所属大学における学習支援の現状を把握し、組織的な視点から問題の解決方法を提案できる
- (4) 学習支援に関わる多様な考え方や実践事例を通じて、共に学び合う雰囲気貢献する

参加申し込み

お申込み

<https://www.jaedweb.org/dev1>

問合せ
メールアドレス

info@jaedweb.org

参加費

1人 20,000円

振込先

三井住友銀行 兵庫支店 普通 7758395 カマナトセイヨウシクミデザインカンキョウ



<参加費内訳>

テキスト※/ 当日資料印刷・製本費 // 当日研修費用/昼食
※清水栄子・中井俊樹編 (2022) 『大学の学習支援 Q&A』
(玉川大学出版部) を参加者に配付いたします。



日本高等教育開発協会 (JAED)

Web: <https://www.jaedweb.org> お問い合わせ先: info@jaedweb.org

第2回

学習支援コーディネーター 養成研修会

受講証
発行

～ 組織的な学習支援の取り組みや改善の方法を考える ～

各大学では教育目標を達成するために、個々の学生のニーズや課題に対応する組織的な学習支援に取り組み、継続的に改善を図ることが必要とされています。本研修会では貴学における組織的な学習支援を担う学習支援コーディネーターの養成を目指します。

- 開催日程 2023年12月 9日土曜日 10:00 から 17:15まで
2023年12月10日日曜日 10:00 から 17:15まで **定員 30名**
- 場 所 追手門学院大学総持寺キャンパス
大阪府茨木市太田東芝町1-1
- 対象者 大学教職員

事前課題があります。
詳しくは内面をご参照下さい。
研修会全日程を受講の方に受講証を発行します。

- 【主催】 日本高等教育開発協会
- 【共催】 追手門学院大学教育支援センター
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)
株式会社学びと成長しくみデザイン研究所

多様な学生を受け入れている大学では、学習者本位の教育の提供とともに、その質の保証が求められています。学生の学びを充実させるためには、正課教育だけでなく、正課外活動も視野に入れたきめ細やかな支援が必要とされています。そのためには、授業を担当する教員とともに職員も参画した組織的・戦略的な学習支援の重要性が高まっています。そこで、組織的な学習支援の企画・運営に携わる人材である学習支援コーディネーターが必要とされています。

本研修会では、学習支援コーディネーターとして求められる学習支援に関する理論と実践を学び、所属大学での組織的な学習支援を推進するための具体的なアクションプランの作成を行います。講義だけでなく、参加者同士の議論や講師とのメンタリングを通して学ぶことで理解を深めていきます。

学生のニーズに沿った支援方法の検討、協働体制の構築といった学習支援に関する課題の遂行や学習支援の組織的な運営を担うみなさまのお申し込みをお待ちしております。

このような方が対象です

- 学習支援による教育効果を高めたいと考えている教職員
- 所属大学の学習支援を改善したいと考えている教職員
- 学習支援の組織的運営に携わる管理職

事前課題

テキスト『大学の学習支援Q&A』を踏まえ、以下の課題についてワークシートの指定の箇所に記載してください。

- 1) 所属大学で提供されている組織的な学習支援の名称と支援の概要について可能な限り調査し記載してください。
- 2) 所属大学の学習支援について改善したいと考えていることを記載してください。

講師



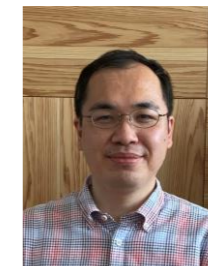
中井俊樹
日本高等教育開発協会
会長
愛媛大学
教授



清水栄子
追手門学院大学
准教授



上月翔太
愛媛大学
講師



多田泰紘
京都橘大学
専任講師

プログラム

研修1日目 ◇ 12月9日土曜日

<オープニング>

10:00~10:20

オリエンテーション・参加者自己紹介

2日間の研修に関するオリエンテーションおよび参加者による自己紹介を行います。

10:20~11:30

学習支援とその意義

中井俊樹

大学の学習支援とはどのような活動でしょうか。具体的に大学のどのような問題を解決するものでしょうか。所属する大学の文脈でどのように学習支援を位置づけて、どのように組織的に実施することができるのかを考えます。

ランチタイム <11:30-12:30>

12:30~13:30

面談の指針と体制

清水栄子

学習上の問題は個々の学生によって異なることを考えると、学生一人ひとりの状況に応じた支援ができる面談は、基本的な学習支援の方法といえます。面談の指針、標準的な5段階の方法について学び、組織的な学習支援の体制について検討します。

13:40~14:40

多様な学生への支援

上月翔太

多様な学生の支援は学習支援の重要な役割の1つです。学生の多様性には様々な観点があり、学習支援に携わる教職員には一定の知見が求められます。ここでは学習支援において、学生の多様性をどのように理解すべきか、組織的な支援において何に留意すべきかを学びます。

14:50~15:50

学生相互による支援

多田泰紘

学生相互による学習支援には、支援を受ける学生と支援を行う学生の双方に学びと成長の機会を提供できます。一方で、効果的な支援を展開するためには、支援を行う学生との関係構築や研修の実施など、留意すべき点もあります。ここでは、学生相互による学習支援の意義と方法について学びます。

<全体>

16:00~17:00

学習支援の実践共有（全体協議）

全講師

学習支援を実践するうえでの工夫や困っていることを共有し参加者間で意見交換を行います。

17:00~17:30

情報交換会（名刺交換）

研修2日目 ◇ 12月10日日曜日

前日の振り返り

1日目に学習したことを振り返り、より効果的に2日目の学習に繋がります。

10:00~10:10

10:10~11:10

専門組織の運営

清水栄子

効果的かつ効率的に学習支援を推進するために、学習支援の専門組織はどのように運営されるのがよいのでしょうか。この問いについて、専門組織の目標設定、評価、広報、構成員の能力開発などの観点から考えます。構成員個人でできることや組織全体ですべきことについても検討します。

<個人ワーク>

11:20~11:50

所属大学における学習支援の現状把握

組織的な視点から所属大学における学習支援の運営や実践を振り返り、現状と改善点を検討します。

ランチタイム <11:50-12:50>

<個人ワーク/講師とのメンタリング>

12:50~15:20

所属大学の学習支援を改善するための行動計画作成

全講師

所属大学の学習支援を改善するためのアクションプランを作成します。講師とのメンタリングを行い、ブラッシュアップします。

<全体>

15:30~17:00

行動計画の発表・相互フィードバック

全講師

作成したアクションプランを参加者と共有し、いつまでにどのような行動を起こすのかを宣言します。

<クロージング>

17:00~17:15

よりよい学習支援を展開するために（全体のふりかえり）

2日間の全体のふりかえりと研修のまとめを行います。